

平成28年10月31日

相模原市の障害者支援施設における事件の検証および再発防止策検討チーム  
座長 山本輝之様

全国手をつなぐ育成会連合会  
会長 久保厚子

平素より知的障害のある人たちとその家族の福祉についてご尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。私たち知的障害者とその家族は、障害の程度にかかわらず、各ライフステージに応じた適切な支援のもとで安心して暮らせることを願っており、共生社会の実現を求めています。本事件の検証および再発防止に関する提案が、誰もが安心して暮らして生きていける社会の構築につながる事を願っております。

**1. 精神鑑定の結果と当該施設の検証結果を反映してください。**

現在、容疑者への精神鑑定が行われておりますが、具体的な情報は無く、容疑者が措置入院していた事と事件との因果関係は判然としません。中間報告で焦点化された措置入院ですが、鑑定の結果次第では、事件と距離のある視点でのとりまとめになります。

容疑者は、予告文を用いその思いを世間に示しました。書かれた内容は稚拙であり荒唐無稽でした。本人の粗暴な振る舞いもあり、結果として措置入院での対応となりましたが、措置入院で対応すべきでは無かったのかも知れません。いずれにしろ判断が困難だったこのような事例について、精神鑑定の結果も織り交ぜて、当時の司法、行政、医療、福祉を検証し、危うさを感じ関わりが難しい人、対応困難者とされ医療に託されがちな人の支援について、地域の関係機関が谷間を埋めつつ、真の連携がはかれる対応策が提示されるよう検討を深めて頂きたいと思えます。その際、誤解や偏見による予断が生まれ無いようにしていく視点が最も重要です。

次に防犯対策ですが、内部犯行を前提にしての検討が、中間報告とりまとめの時点では情報が得られていないためか、なされておられません。ただいま神奈川県では、「津久井やまゆり園事件検証委員会」が設置され、事件の検証が行われています。当該施設で職員である容疑者の犯行声明にどう対応したのか？離職後容疑者をどのようにとらえ、また犯行予告に備えてどのような具体策をとったのか？十分に情報が得られていません。

防犯体制の強化の経緯と結果への評価を踏まえて、今後の全国の施設への防犯対策としての検討を行ってください。

また防犯を担う職員へのケアという視点では、容疑者の履歴も重要です。当該施設での採用時から仕事ぶり、支援者としての利用者への関わり、職員の間関係等が、必要で重要な情報であると思われます。これらの情報を得て、今後の対策として施設職員の処遇や

防犯対策のあり方等についての検討をお願いします。

今後の検討会の検証では、精神鑑定の結果と当該施設の検証結果の情報を得て、多角的な意見の元、中間報告を更に発展させる視点で、必要な時間をかけ検証すべきと考えます。

## 2. 再発防止策とこれからの対応について段階的に整理してください

当会では、第3回の会議に提出した意見書において、二つの課題を踏まえての具体策が必要であると提案しました。一つ目は、事件の事実から抽出された「対策」。二つ目は、事件の事実そのものには関わらないものの、背景として考えられる課題を解決していくための「政策」です。

(対策)

措置入院のあり方、特に退院後のフォローに関すること

個人情報保護の観点を踏まえた、措置入院既往者の情報共有のあり方に関すること

犯行予告等に対する関係機関・団体との連携体制のあり方

施設・事業所における防犯のあり方に関すること

津久井やまゆり園におられる方、職員への心理的ケアに関すること

津久井やまゆり園におられる方のうち、転居を希望する人への特例的対応に関すること

(政策)

政府として障がいの有無に関わらず共生する社会の構築を目指す姿勢に関すること

特に知的・発達障がいに関する啓発、理解促進に関すること

差別や偏見を増長させない環境作りに関すること (差別解消法の活用)

施設・事業所職員に対する人権擁護意識向上に関すること (虐待防止法研修の活用)

施設・事業所職員の処遇に関すること

中間報告でまとめに取り上げられたものもありますが、今回、具体的に指摘したものも含め、まだ未着手のものもあります。さらなる検討をお願いいたします。

今回の事件が社会に与えたダメージは大きなものがあります。容疑者の思い込みによる偏った価値観が報道などにより拡大再生産され、多くの方が不安を強く抱き、今も感じております。間違った発言を徹底的に払拭して、共生社会の実現を阻む要因が生まれないようにしていく必要があります。事件およびその影響にたじろぐことなく、「互いに人格と個性を尊重しながら共生する社会」の構築に向けて着実に歩みを進め、その実現を求めていくという姿勢を明確に伝えていく必要があります。

障害の有る無しで特別視されることなくお互いに人格と個性を尊重しながら共生する社会の実現をめざすためにも事実を踏まえた報告とそれを受け手の政府の対応に強く期待をしております。